

# 平成 22 年度前期入学 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科 科目等履修生出願要項

1. 募集人員 : 各科目若干名

2. 出願資格 : 原則として大学入学資格を有する者  
ただし、科目によっては履修条件有り(開設授業科目の頁参照)

3. 出願手続

(1) 出願受付

期 間 : 平成 22 年 1 月 1 2 日(火) から平成 22 年 1 月 1 8 日(月) まで  
(受付時間: 9 時から 17 時まで)

場 所 : 東京医科歯科大学学務部教務課保健衛生教務掛(別添案内図参照)  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL 03-5803-5121

やむを得ず郵送する場合は、書留郵便とし、封筒に「科目等履修生出願書類在中」と  
朱書のうえ、出願期間内に必着のこと。

(2) 提出書類等

科目等履修生入学願書(様式 1)

履歴書(様式 2)

最終学校の卒業(見込)証明書及び成績証明書

返信用封筒(角形 2 号の封筒に住所・氏名を記載し 120 円切手を貼付したもの)

検定料(9,800 円) 納付証明書

検定料は本学所定の銀行振込用紙(振込依頼書)を使用して最寄りの金融機関の「窓口」  
から電信扱いで振り込むこと。その際、金融機関から発行される「東京医科歯科大学 検  
定料 納付証明書」に金融機関の収納印があることを確認の上、必要書類に添えて提出  
のこと。なお、ゆうちょ銀行からの振込は不可。また、手数料は振込人負担となり、一  
度納入した検定料は出願の有無に関わらず返還しないので注意すること。

外国人の場合、在留資格を証明できる書類の写しを提出すること。

4. 選考方法及び結果

(1) 選考方法

書類審査

面 接 : 平成 22 年 1 月 27 日(水) 18 時から

(医歯学総合研究棟 18 階 保健衛生学科研究科長室)

日程等の詳細については、後日通知する。

(2) 結 果 : 合格者には、合格通知書及び入学手続書類等を郵送する。

## 5. 入学等手続

下記により入学等の手続を行うこと。

(期間内に手続を完了しないときは入学を許可しない。)

(1) 期 間 : 平成22年2月22日(月)から平成22年2月26日(金)まで  
(受付時間: 9時から17時まで)

(2) 場 所 : 東京医科歯科大学学務部教務課保健衛生教務掛(別添案内図参照)  
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 TEL 03-5803-5121

(3) 必要書類

誓約書

学生証(身分証明書)発行台帳

保証書

卒業証明書(出願時卒業見込みの者)

写真(出願前3ヶ月以内に撮影したもので上半身脱帽のもの)

縦4cm×横3cm・・・2枚

縦5cm×横4cm・・・1枚

入学料 28,200円(平成21年度実績)

本学所定の銀行振込用紙(振込依頼書)を使用して、最寄りの金融機関の窓口から電信  
扱いで振り込むこと。その際、金融機関から発行される「東京医科歯科大学 入学料 納  
付証明書」に金融機関の収納印があることを確認の上、必要書類に添えて提出のこと。な  
お、ゆうちょ銀行からの振込は不可。また、手数料は振込人負担となり、一度納入した入  
学料は出願の有無に関わらず返還しないので注意すること。

6. 履 修 届 : 履修届(合格通知に同封)は、履修を許可された科目の担当教員に押印してもらい、  
保健衛生教務掛まで提出すること。

7. 授 業 料 : 1単位につき14,800円(平成21年度実績)

(合格後に振込依頼書を郵送する)

授業料の改定が行われた場合は改定時から新料金が適用されます。

8. 開設授業科目 : 科目の概要等は別紙1を参照のこと。

(1) 前期開講科目

- ・ 看護学専攻 解剖学, 生理学, 病理学, 微生物学, 在宅看護学, 緩和ケア看護学, 産業保健学, 看護心理学, 小児看護学, 母性看護学, 母性看護学, 母性看護学, 老年看護学, 地域看護学, 地域看護学
- ・ 検査技術学専攻 人体構造学講義, 健康食品総論, 血液検査学講義, 医用システム情報学講義( ), 医用システム情報学講義( ), 生理検査学講義( ), 病原体検査学講義( ), 遺伝子・染色体検査学講義, 神経科学, 免疫検査学講義

(2) 通年開講科目

- ・ 検査技術学専攻 分析化学検査学講義 ( )

9 . 授業時間割 : 別紙 2 を参照のこと。

10 . 注意事項 :

- (1) 今回は、平成 22 年 4 月入学 (通年開講科目、前期開講科目) を希望する者の出願を受け付ける。後期入学 (10 月入学、後期開講科目のみ履修) については、7 月頃出願要項配付の予定である。なお、入学後の履修科目の追加・変更は一切認めないので注意すること。
- (2) 既納の検定料及び入学料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 入学手続き完了者で授業料を納付した者が平成 22 年 3 月 31 日 (水) までに入学辞退及び一部科目等履修の取り消しを申し出て許可された場合は、当該授業料相当額を返還する。
- (5) 選抜に用いた個人情報を教育目的以外に使用することはありません。
- (6) 本募集に係る照会

東京医科歯科大学学務部教務課保健衛生教務掛

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL 03-5803-5121

## 平成22年度開講科目(前期)

## (1)看護学専攻

授 業 科 目 名	単位数	前 期	通 年	担 当 分 野 ・ 教 員 名 及 び 科 目 の 概 要
解 剖 学	3			【形態・生体情報解析学分野 佐藤 健次 教授】 解剖学は人体を構成する体の仕組みを細胞から器官レベルについて探求する学問で、生命科学の基礎となる重要な学問である。
生 理 学	3			【形態・生体情報解析学分野 佐藤 健次 教授】 生命のあるもの、すなわち生体の生命現象のメカニズムを自然科学の立場から実験とその観察に基づいて究明する学問。
病 理 学	1			【分子病態検査学分野 熊谷 二郎 准教授】 病理学は疾病の本態を解明する学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。
微 生 物 学	1			【生体防御検査学分野 岡村 登 教授】 医学微生物学は、感染症の原因である微生物および微生物とその宿主（特に人間）との相互関係に関する学問である。この科目では、医学微生物学および人間をとりまく環境中の微生物について学習する。近年広く行われている遺伝子工学（バイオテクノロジー）も、微生物の研究の過程における発見、発明から発達したものである。
在宅看護学	1			【在宅ケア看護学分野 本田 彰子 教授】 在宅看護で特に重要とされる施設との連携、他職種との連携について、またケアマネジメントの実際について理解することにより、在宅療養支援の実際と看護職の専門性を学ぶ。
緩和ケア看護学	1			【在宅ケア看護学分野 本田 彰子 教授】 自宅における終末期療養を中心にターミナルケアの理論と実際を学ぶ。特に、実際の在宅ホスピスにかかわる実践家によりターミナルケアの現状を学び、高齢社会及び在宅療養が推進される社会での終末療養支援の課題を考究する。
産 業 保 健 学	1			【健康教育学分野 森田 久美子 准教授】 働く者の健康指導と健康管理並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり、その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。
看 護 心 理 学	1			【精神保健看護学分野 宮本 真巳 教授】 受講者が日常的に体験している生活習慣やストレスの吟味を通じて、心の仕組みや働きについて理解を深めると共に、心の健康の維持・増進に必要なセルフケアと、心の健康に問題を抱えている人への精神的援助に必要な知識・技術・態度の基本について学習する。
小 児 看 護 学	1			【小児・家族発達看護学分野 広瀬 たい子 教授】 小児の特徴を生涯発達の視点から理解する。また、学校保健の視点から成長期にある幼児、児童、生徒、学生の学校保健活動を理解する。

授 業 科 目 名	単位数	前 期	通 年	担 当 分 野 ・ 教 員 名 及 び 科 目 の 概 要
母 性 看 護 学	1			<b>【リプロダクティブヘルス看護学分野 大久保 功子 教授】</b> この科目は、母性看護学の概論を学習する。母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは性と生殖に関わる健康課題について、女性だけでなく男性をも看護の対象に含め、地域社会における看護展開、多様な文化背景や価値観を考慮した看護展開を考える視点を養う。
母 性 看 護 学	1			<b>【リプロダクティブヘルス看護学分野 大久保 功子 教授】</b> 母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に、妊娠・分娩・産褥期の生理的な変化の過程から逸脱した状況に関する病態整理、診断、治療、そして新生児の胎外生活への適応過程とその時期に生じやすい異常の症状、診断、治療に関する基本的な知識を習得する。
母 性 看 護 学	1			<b>【リプロダクティブヘルス看護学分野 大久保 功子 教授】</b> 母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に、妊娠・分娩・育児期の女性と新生児期のこども、および家族の看護課題と看護援助に関する基本的な知識を習得する。
老 年 看 護 学	3			<b>【高齢者看護・ケアシステム開発学分野 山本 則子 教授】</b> 高齢者の心身社会的な特徴を学び、それを基盤とした老年看護実践の理論的基礎を見につける。老年看護学の背景となる保健医療福祉制度の枠組みと動向を学び、高齢者ケアシステムの一員として看護師が果たすべき役割を理解する。 <b>履修条件：看護系短期大学又は看護学校を卒業した者</b>
地 域 看 護 学 ( 総 論 )	1			<b>【地域保健看護学分野 佐々木 明子 教授】</b> 地域看護の基盤となる制度や活動を理解し、地域の人々の生活問題と健康ニーズをアセスメントする方法を学ぶ。また、地域看護の展開方法および技術について学ぶ。(総論) <b>履修条件：看護系短期大学又は看護学校を卒業した者</b>
地 域 看 護 学 ( 地 域 成 人 老 人 ・ 母 子 看 護 活 動 論 )	2			<b>【地域保健看護学分野 佐々木 明子教授】</b> 地域看護学総論で学んだ知識をもとに、地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。特に、成人高齢者と母子を中心に、地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント、保健看護活動の展開方法、評価の視点を学ぶ。(地域成人老人・母子看護活動論) <b>履修条件：看護系短期大学又は看護学校を卒業した者</b>

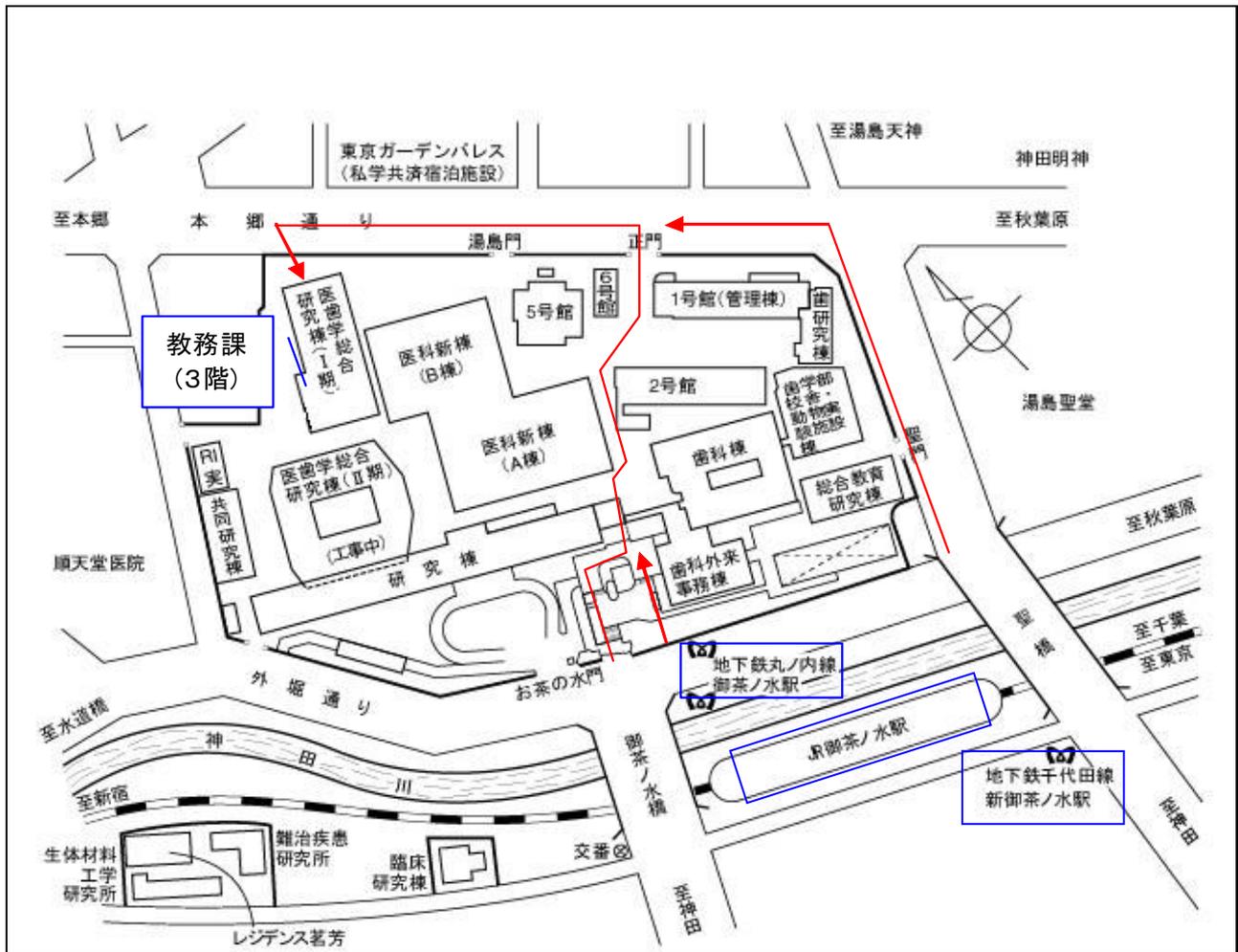
## (2)検査技術学専攻

授 業 科 目 名	単位数	前 期	通 年	担 当 分 野 ・ 教 員 名 及 び 科 目 の 概 要
人 体 構 造 学 講 義	3			<b>【形態・生体情報解析学分野 佐藤 健次 教授】</b> 人体構造学は人体を構成する体の仕組みを細胞から器官レベルについて探求する学問で、生命科学の基礎となる重要な学問である。
健 康 食 品 総 論	2			<b>【形態・生体情報解析学分野 佐藤 健次 教授】</b> 医学・栄養学的知識に基づき、食品摂取者に対して、保健機能食品、いわゆる健康食品に関して科学的立場に立ち、適切な指導を行える知識を学ぶ。

授 業 科 目 名	単位数	前 期	通 年	担 当 分 野 ・ 教 員 名 及 び 科 目 の 概 要
血液検査学講義	2			<p><b>【先端血液検査学分野 小山 高敏 准教授】</b>  血液成分の産生機構・形態・機能についての基本事項を習得し、各種疾患における血液検査の意義を習得する。  履修条件：大学・検査系専門学校既卒者</p>
医用システム情報学講義( )	2			<p><b>【生体機能支援システム学分野 若松 秀俊 教授】</b>  現代の医療を支えている各種の検査・診断・治療機器は医用工学や情報科学を基礎としたメカトロニクスの応用分野である。これらを総合的に理解するために、電磁気学、交流理論、回路理論、電子物性、電子回路、デジタル回路、通信、計測、制御、コンピュータ工学など工学の基礎を学ぶ。これらの分野で特徴的な概念や技術を理解するとともに、各種機能の実現に不可欠なデバイスをも概観する。なお、医用機器学との関連から実際の機器の動作原理や性能や保守・安全管理に関する技術を学ぶ。</p>
医用システム情報学講義( )	1			<p><b>【生体機能支援システム学分野 若松 秀俊 教授】</b>  生体の構造、昨日及び現象の発現のシステム工学的な記述と外部から生体現象を制御する生物学・医学的な意味を学ぶ。また近年のコンピュータ技術と電子通信技術の成果が医療分野における情報の流通とその利用に如何に関わっているかを学ぶ。さらに、実際に運用されている医療システムを通して、この分野の情報処理の社会的重要性とその将来性を学ぶ。</p>
生理検査学講義( )	3			<p><b>【形態・生体情報解析学分野 佐藤 健次 教授】</b>  生命のあるもの、すなわち生体の生命現象のメカニズムを自然科学の立場から実験とその観察に基づいて究明する学問。</p>
分析化学検査学講義( )	4			<p><b>【先端分析検査学分野 戸塚 実 教授】</b>  臨床科学検査、放射性同位元素技術学について学習する。臨床化学検査においては、患者から採取した血液、尿、その他に含まれる各種の成分を生化学的に定量する方法を習得するとともに、得られた客観的な検査情報(検査値)が患者の診療に果たす役割について学習する。  放射性同位元素技術では、原子の構造と放射能、放射線と物質との相互作用、アルファ線、ベータ線、ガンマ線などの性質、放射能、放射線の単位、放射性同位元素の製造、分離と精製及び安全管理について理解する。</p>
病原体検査学講義( )	1			<p><b>【生体防御検査学分野 岡村 登 教授】</b>  医学微生物学は、感染症の原因である微生物および微生物とその宿主(特に人間)との相互関係に関する学問である。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。近年広く行われている遺伝子工学(バイオテクノロジー)も、微生物の研究の過程における発見、発明から発達したものである。</p>
遺伝子・染色体検査学講義	1			<p><b>【分子生命情報解析学分野 赤澤 智宏 准教授】</b>  近年、遺伝子検査は医学領域にとどまらず、あらゆる分野に応用されている。研究の進歩が著しいために市販の教科書では最新の技術・知識をカバーしきれていない。本講座は「遺伝子とは何か?」という実体としての遺伝子研究から、情報としての遺伝子、その産物としてのタンパク質、そして生体の機能に至るまで、最新の内容をメッセージとして伝えたい。</p>

授業科目名	単位数	前期	通年	担当分野・教員名及び科目の概要
神経科学	1			<p><b>【分子生命情報解析学分野 赤澤 智宏 准教授】</b>          こうすれば頭がよくなる・・・みたいな品格を欠いた脳科学が横行している。しかし、神経科学は「脳が脳を理解する」という哲学的ともいえる難問を包含している。神経発生からネットワーク形成まで新しい論文を紹介しながら神経研究の進歩に触れてほしい。</p>
免疫検査学講義	4			<p><b>【生体防御検査学分野 窪田 哲朗 准教授】</b>          免疫検査学は免疫学的手法を臨床検査に応用する学問である。ほとんどあらゆる疾患における臨床検査に免疫学的手法は利用されており、その原理や意義について学ぶ。輸血や臓器移植に必須である輸血検査学についても学ぶ。また、自己免疫疾患、感染症、悪性腫瘍などの免疫機能の異常が直接的に関わる疾患については、それらの病態についても理解する。          しかし、古典的な検査は年々改良されて、より優れた方法に代わられている。そのような変化に対応するため、また自ら新しい検査法の開発を目指す研究に取り組むために、最も大切なことは免疫学の基本をしっかりと学んで応用力を養うことである。</p>

## 【案内図】



出願受付及び入学受付場所：

東京医科歯科大学学務部教務課保健衛生教務掛  
(医歯学総合研究棟 (I期棟) 3階)

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

TEL 03-5803-5121